

## 地域づくり提案事業 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 21 年度

市町村名	川越市					
提案事業名	川越市地域コミュニティ活動推進事業					
事業期間	19 年度 ～ 完了 年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 公民館登録グループ数					
	(成果検証の具体的な方法) 事業実施後に市内公民館の登録グループ数を集計し、目標値と比較して増減数及びその原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (17年4月時点)	840	目標値 (21年3月時点)	855	実績値 (21年3月時点)	807
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人) 高階公共	(目標) (実績)	49,400 77,381	稼働率 (%)	(目標) (実績)	—
	年間利用者数 (人) 東部ふれあい	(目標) (実績)	36,000 27,719	稼働率 (%)	(目標) (実績)	—
住民への公表状況 及び特記事項	市のホームページにおいて実績値を住民に公表する。					

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成19年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 仮称高階地区公共施設建設事業	○ △ ×	出張所、公民館、図書館、児童青少年施設の機能を併せ持つ、地域の拠点となる複合施設を建設したことにより、多様化する住民ニーズに対応するとともに、広い世代わたる様々な地域コミュニティ活動の機運を醸成することができた。
② 仮称東部地域ふれあいセンター建設事業	○ △ ×	地域住民の文化・コミュニティ活動を積極的に支援するための、地域の拠点となる施設を建設した。施設の管理運営を地域住民の自主性・自発性を重視した住民管理方式に委ねることで、自立した地域コミュニティ組織を育成するとともに、多様な地域コミュニティ活動を促進する体制の整備を図ることができた。
③ 川越・地域子どもサポート推進事業	○ △ ×	市内全地区にサポート委員会を組織し、家庭、学校、社会教育施設、地域社会が協働し、一体となった子どもサポートが推進できた。子どもサポート委員会の活動を通じて、地域コミュニティ活動の意識の醸成を図るとともに、継続的な活動を行うための公民館登録グループ数が増加した。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	別紙のとおり
実施事業について 成果が不十分である点	別紙のとおり
成果検証を踏まえた 今後の改善策	別紙のとおり

## 地域づくり提案事業 成果検証報告書

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

## 仮称高階地区公共施設建設事業

実施事業について 十分に成果が認められた点	出張所、公民館、図書館、児童館の機能を併せ持つ、川越市高階市民センター（平成20年5月供用開始）を開設し、地域コミュニティ活動拠点を整備することができた。特に主要な活動拠点となる公民館の利用実績（平成20年度年間利用者数）が目標値に対し、約156%となり、大幅に増加した。
実施事業について 成果が不十分である点	公民館登録グループ数が、目標値並びに従前値を下回ったことは、平成21年2月に「公共施設予約システム」が導入され、制度に沿って厳格に要綱の適用を行ったための結果である。登録することにより無料になり活動しやすくなるが、市としては現在の財政状況を考慮し、今後も厳格に制度を適用していく。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	「公共施設予約システム」における利用者登録団体数の増加及び利用者数の増加を図り、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを進める。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

## 仮称東部地域ふれあいセンター建設事業

実施事業について 十分に成果が認められた点	地域の団体の代表者等で組織される運営協議会と協力して事業を進めたことにより、地域住民の意見を反映した施設の整備を図ることができた。また、当該運営協議会が指定管理者となる住民管理方式により運営を行うことで、市民が親しみやすい施設となっている。さらに、当該運営協議会がNPO法人格を取得し、継続して事業を実施できる体制の整備が図られた。
実施事業について 成果が不十分である点	開館当初は、施設があまり周知されていなかったため、利用者が少なかった。その後は利用者が増えてきたが、年間利用者数は目標値に届かなかった。また、開館初年度だったことから、運営協議会が施設の整備と組織の強化を中心に指定管理業務を行うことになったため、施設利用と地域コミュニティ活動を促進する自主事業を行うことができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	指定管理者である運営協議会が、NPO法人活動として自主事業を行うことで、施設の利用と地域コミュニティ活動の促進が図られるものと考えている。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

## 川越・地域子どもサポート推進事業

実施事業について 十分に成果が認められた点	市内全14地区で地域の特色を生かした事業が数多く展開され、充実した取り組みが行われている。公民館が事業の拠点となり、事業の推進においては欠かすことのできない存在になっている。事業を通して、地域住民の結びつきが強まり、地域づくりに目が向けられるようになってきている。
実施事業について 成果が不十分である点	地域の子どもたちの実態に応じた事業の工夫。（毎年同じことを行うのではなく）
成果検証を踏まえた 今後の改善策	公民館の登録グループや利用者が、積極的にサポート事業に関われるよう、情報交換を行ったり、サポート事業の広報啓発をさらに行っていく必要がある。 担当課としても、地区事業の取組について地域に向けて活発に紹介を行っていく必要がある。施設を有効に活用した事業について、地域とともに検討を重ねていきたい。